

「おたすけ」報告書

人間文化研究科 住環境学専攻

日高 紗彩

生活環境学部 住環境学科

大原 陽菜子

〈きっかけ〉

近年、テレビや雑誌などのメディアでシェアハウスについて取り上げられることが多く、家族以外の他人と暮らすことへの興味を持つようになりました。シェアハウスについて調べていくと、ほとんどのシェアハウスは水回りやリビングは共用で、自分の部屋は単なる部屋だけです。シェアハウスのような暮らしは憧れるけれど、自分のペースで気にせず気ままに暮らせる一人暮らしからシェアハウスに引っ越すまで心は動かされませんでした。

そんな時に、大学の授業で多様な暮らし方や住居のカタチについて学ぶ中で「コレクティブハウス」という存在を知りました。コレクティブハウスとは、北欧発症の住まい方で現在では、北米などを中心に世界中に広まっていく暮らし方です。既成の家族概念、福祉概念、住宅概念にとらわれず、人と人との新しいかかわり方をつくりながら、より自由に、楽しく、安心安全に住み続ける暮らし方です。それぞれが独立した専用の住居とみんなで使ういくつかの共用スペースを持ち、生活の一部を共同化する合理的な住まいです。自分や家族の生活は自立しつつも、血縁にこだわらない広く豊かな人間関係の中で暮らす住まいのかたちです。

一般的に知られているシェアハウスと違い、コレクティブハウスには、各居室内にキッチン、トイレ、お風呂、洗面、リビング・ダイニング、寝室などが揃っています。その上で、他の世帯と共有する広いリビングや庭、週に何回かは居住者が担当制でご飯を作りみんなで食べるコモンミールがあります。

私たちは、この「コレクティブハウス」という住まいの建築と住まい方に興味を持ち、将来の住居選択の一つとして、ぜひ見学に行き、住まわれているみなさんの様子や体験談を直接聞いてみたいと思いました。

コレクティブハウスは関東に多く、NPO コレクティブハウジング社が運営するものが日本では有名です。実際にコレクティブハウスを見学できる機会はないかと探し、大学からの資金援助に飛びついた勢いで、まずは見学会に参加することにしました。

〈活動内容〉

東京の2つのコレクティブハウスの見学会や地域へ開かれたイベントに参加したり、コレクティブハウス内の大掃除のお手伝いなどをしながら住まわれている方たちの雰囲気を感じ取ったりお話を伺ったりしました。

①コレクティブハウスの見学

初めてコレクティブハウスの暮らしというものを具体的に説明してもらい、知ることができました。他者交流のある暮らしの中でも、コレクティブハウスは各個室内でも暮らしを完結でき、その延長線上に共有空間があること、コモンミールがあること、居住者が主体になって運営していること、月に1回話し合いの場があること、などコレクティブハウスの特徴について詳しく知ることができました。

コレクティブハウスには、様々な間取りの部屋が用意されているので、住まわれている方の世帯構成も様々です。若い一人暮らし世帯、夫婦世帯、家族世帯、高齢者世帯、一人暮らし高齢者世帯が各居室で生活は完結させながらも、ゆるやかに繋がりを持って一緒に住まわれていました。様々な人が互いに顔見知りで、一緒に暮らしている様子は、映画などでよく見る昭和の良き時代を思い出させるようでした。

②住まわれている方のお話を伺う

実際に住まわれている方のお話を伺う機会があり、コレクティブハウスでの暮らしの魅力をたくさん知ることができました。特に、私はコレクティブハウスにおける子育てについて多くのお話を伺うことができました。コレクティブハウスに住まう様々な方同士で子育ての日常的な助け合いのあることを知ることができました。

また、各居室は一般的なアパートより少し個室数が少ないため、子供が自分の個室を持つことができないことが分かりました。しかし、共有空間であるコモンスペースに友達を呼んだり、家庭教師を呼んだり、小さい子供たちが寝静まった静かなコモンスペースで勉強をしたり、コモンスペースを自室の空間の延長として利用し、自分の個室を持つ以上の豊かな暮らしを楽しんでいることが伺えました。

〈最後に〉

コレクティブハウスでは、自分たちのプライベートな暮らしは完全に守りつつ、毎日誰かと顔を合わせる機会があったり、ちょっとした時間に子供をみてもらったり、ゆるやかな人との繋がりを常に感じる事ができる暮らしがありました。

最近では、不審者や誘拐事件などが増えたことから外で子どもたちが安心して遊べる場所やできることは、どんどん減ってしまっています。また、高齢化により一人暮らしの高齢者が増えたり、核家族化により孤立する世帯が増えるなど悲しいニュースをよく耳にします。コレクティブハウスは、これらの問題を解決してくれる新しい住まい方だと感じることができました。

関西にコレクティブハウスがなく、実際に住むことができないのが残念ですが、もし奈良や大阪にあったら、一人暮らし用のアパートではなくコレクティブハウスに住んでみたいと強く思うようになりました。

就職や結婚などをきっかけに引越す機会があり、今後関東に住むことがあれば、住居を

選ぶときの一つの選択肢にコレクティブハウスは必ず入れたいと考えるようになりました。一人暮らしでも家族でも、子育てをしていますが、他の世帯とゆるくつながりながら暮らすコレクティブハウスは、自身にも、自身の家族にもきっと良い影響を与えてもらえる気がします。